

令和4年度 第3回（第6期第5回）新宿区産業振興会議 議事要旨

【日 時】 令和5年3月24日（金）午後4時～6時

【場 所】 B I Z新宿（区立産業会館） 研修室A

【出席者】 委員：植田、遠山、長山、笠井、則竹、富田、豊岡、大神田、伊藤、横倉、松尾、各委員
事務局：小泉文化観光産業部長、市田産業振興課長、高井産業振興係長、吉田産業振興主査、
山本主任、国分主事

【欠席者】 江曾委員、友成委員

【傍聴者】 なし

【配布資料】 省略

【内 容】

1 開会

2 議事

(1) 令和5年度産業振興課の主な事業について

資料1に基づき、事務局より説明した。

(2) 新宿区産業振興会議第6期報告書（案）について

- ・資料2及び資料3に基づき、事務局より説明し、各委員から意見を求めた。
- ・各委員からの主な発言要旨は以下のとおり。

3 主な発言要旨（新宿区産業振興会議第6期報告書（案）について）

- ・第2章の特別調査は専門部会を通して調査した結果をもう少し反映させてもよいのでは。業種別の結果など。
- ・専門部会での調査結果については本文とは別に「資料」として掲載する形でもよいのでは。
- ・第3章では現下の経済状況における課題としているが、課題とは個々の中小企業にとっての課題であることをリード文で明確にしたほうがよい。
- ・第3章「3. 社会経済情勢の変化における課題（2）脱炭素化への取組み」の中でSDGsに触れているが、中小企業に求められていることはまず脱炭素化をはじめとしたSDGsへの取組みであるため、タイトルを「SDGsへの取組み」に変えた方がよい。
- ・第3章「4. 課題への対応について」では変化に対応していくことが中小企業の課題とあるが、このことに加え、課題に対して中業企業は自社が何をしなければならないのかを考え、課題と自社との関係を認識することも重要であるということを加えた方がよい。
- ・これまでやってきたことが通用しなくなっており、大胆なビジネスが必要になってきていることを打ち出すと良いのでは。
- ・第4章「1. 事業者が成長・発展し続けるまち（1）経営力の強化」の冒頭で中小企業の現状や課題について述べているが、このことは第3章で記載する内容であり、その前提から中小企業をサポートしていくための具体的な支援が第4章の位置づけとした方がよい。

- ・伴走支援が重要視されている中で、区がどのような取組みができるかを考えていくことが重要。
- ・第4章1（1）に記載されている「商工相談」だが、この名前では何を相談できる場所なのか分かりにくいと感じる。
- ・第4章1（2）「創業者等による革新性の創出」の内容に「等」の部分（既存事業者）のことが抜けているため、既存事業者についても言及した方が良いのでは。

4 次回日程について（予定）

第6期第6回産業振興会議

日 時：令和5年6月

会 場：B I Z新宿

5 閉 会